



須坂市立須坂小・須坂支援学校 校長室だより

令和5年12月25日

第3号

みすどかる

住所:須坂市須坂 780

印刷:須坂小学校職員室

発行責任者:小松賢吾(校長)

2学期も無事終了

小学校は82日間、支援学校は85日間の2学期を無事終えようとしています。2学期は行事が多くありましたが、子どもたちにとってはどれも大きな思い出になったようです。

特に小学校は本年度が創立150周年の節目の年ということもあり、運動会・音楽会ともに150周年記念という冠がついていました。また、11月22日の記念式典は、実行委員会の皆様、事務局の皆様にご丁寧にご準備していただき、子どもたちの活躍の場も用意していただいたことで、楽しんで参加することができました。

式典に続いて行われた小平奈緒さんの講演会では、「人とつながる」をテーマにお話をいただきました。須坂小の児童会キャラクターのスザカザスと一緒に登場した小平さんは、自分の子どもの頃のお話や、金メダルを取った平昌オリンピックのことなど、子どもたちにもわかりやすく、さまざまな角度からお話を

してくださいました。この講演会の様子は、支援学校にも同時配信され、支援学校の子どもたちも、教室で落ち着いてゆっくりと見ることができました。子どもたちに夢を与えてくださった小平さんに感謝すると共に、このような機会を作ってくださった実行委員会の皆様にご心より感謝申し上げます。当日ご参集いただいた皆様も、ありがとうございました。

本年度の150周年記念行事は、これで無事一通り終わりになりました。ご協力ありがとうございました。記念誌の発行に向けても準備が進んでおります。こちらは2月末に発行の予定で、各家庭に1冊ずつお配りしますので、楽しみにしててください。追加購入もまだ受け付けていますので、希望があれば須坂小学校の教頭までお問い合わせください。

また、記念式典でも紹介しましたが、地域公民館と協働して2年生と4年生が作成した「フォトモザイクアート」が昇降口に飾られています。この写真は子どもたちの撮影した無数の小さい写真の組み合わせでできあがっています。少し離れて見た全体像と、注視することで見えてくる1枚1枚の小さな写真、どちらも見れば見るほど楽しめるものです。昇降口に展示してありますので、来校時には是非じっくりと見ていただけたらと思います。



2年生作

地域と共にある学校として

先日、地域の方から「須坂小学校の子どもたちは、横断歩道で車が止まると必ずお礼のおじぎをされていて、すばらしいですね」というお褒めの電話をいただきました。横断歩道を渡ろうとする歩行者がいる場合、横断歩道手前で自動車が止まるよう法定義務があるのですが、止まってくれた車に対して感謝の気持ちを表して会釈してくれると運転者も嬉しい気持ちになります。



長野県は、この横断歩道での停車率が8年連続全国1位で8割を超えています。これには、全県的に子どもたちがお礼のおじぎをするため、車も気持ちよく止まってきているとの見方もあるようです。子どもたちを見て自動車が止まってくれるのは、子どもたちを大事にしている表れでもあり、その気持ちに応えようとする子どもたちの姿にも嬉しくなります。お互いの思いやりによる相乗効果です。また、その様子を学校に電話で伝えてくださる地域の方の温かさにも嬉しくなりました。毎日のようにボランティアで横断歩道に立ってくださる方もおり、感謝しかありません。地域に温かく支えていただいていることを実感します。ありがたいことです。

2校が共にある学校として

この写真は、支援学校中学部の「みすずまつり」に須坂小の子どもたちが招待されたときの様子です。遊びの場面を通して、中学部の生徒が小学生をもてなす姿からは、自然な交流を通して、中学部の生徒の育ちを感じ、感謝してもらうことで嬉しそうにしている姿からは、自尊感情の高まりが感じられます。共にあることのメリットを更に引き出せるよう活動を工夫して参ります。



連絡とお願い

○大規模改修延期

- ・過日、市教委からの通知をお配りしたとおり、大規模改修自体は先送りになりましたので、来年度の夏休みについては、ほぼ例年通りの日程となりそうです。
- ・支援学校の多目的室（仮称）を南校舎の南西部に建設する工事は、予定通り来年度実施されます。夏休みから始めて、年度内の完成を目指していきます。

○健康管理、安全管理について

- ・2学期末には、小学校も支援学校もインフルエンザによる学級閉鎖がありましたが、この冬休み中も感染症の流行は続きそうな様子があります。人の往来の増える時期でもありますので、ご家庭でも引き続き感染対策をお願いいたします。
- ・週末には須坂市内でも積雪がありましたが、この休み中も積雪や道路の凍結が予想されます。安全に過ごせるよう、子どもたちを通じて配布した「冬休みの過ごし方について」の内容をもとに、子どもたちへのお声がけをいただくと助かります。
- ・小学生であってもタブレットやSNSの不適切利用の事例が出てきています。トラブルに巻き込まれないよう、利活用については、家庭でも子どもたちと話し合ってみてください。

○終業式で子どもたちに伝えたこと

- ・冬休みは、家庭で自分の役割を果たすためにお手伝いをたくさんしよう、地域の一員として地域の行事に参加しよう、1年の初めに自分の目標をもとう、と話してあります。進級や進学に向け、3学期のスタートに弾みがつくよう、子どもたちには時間を大切に過ごしてもらえたらと思っています。よろしく願いいたします。皆様、よいお年をお迎えください！